

第二期 下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価分析シート

令和5年度実績

【評価分析シート(例)】

重要業績評価指標(KPI)		基準値	年度目標値					
			基準値	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1	〇〇〇〇活用件数	1件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
	(項目の説明)	最終目標値	実績値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	6件 (延14件)		
		延20件	達成度	A	A	A		
	令和4年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		令和4年度は、広報誌への掲載、ホームページの情報更新、PRチラシの配布など周知活動に力を入れた結果、年度目標を超える6件の活用があった。今後は、市内での活用事例の紹介なども行うなど、周知活動に継続的に取り組むとともに、制度の見直しなどを図りより利用しやすい制度にしていき、目標値達成に努める。					
担当課	〇〇課							
備考								

【年度目標値】

目標値(令和7年度)達成に向けた各年度の目標値

【実績値】

各年度末での実績値(本年は令和5年度について記入)

【達成度】

年度目標値と実績値をもとにした各年度の達成度
 ※延数がある場合には、延数の年度目標値及び実績値により評価するものとする。

【令和5年度の実績と実績値の分析及び今後の取組】

令和5年度の実績とそれに伴う実績値の分析、それらを踏まえて今後どのような取組を行うのかについて。

【備考】

過年度における修正内容、今年度における修正(案)などについて掲載。

達成度	評価基準
A	年度目標に対する進捗状況が 100%以上
B	年度目標に対する進捗状況が 80%以上、100%未満
C	年度目標に対する進捗状況が 50%以上、80%未満
D	年度目標に対する進捗状況が 50%未満
—	数値化できないもの
達成済	計画の策定や施設の整備など、過年度においてすでに目標値を達成したもの

$$\text{進捗状況} = \frac{\text{実績値}}{\text{年度目標値}} \times 100(\%)$$

※ただし、KPIの目標値が基準値より数値を下げる項目においては、

$$\frac{\text{年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100(\%)$$

基本目標① 「魅力的で安定した雇用を創出する」

数値目標	基準値	実績値					目標値 令和7年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
生産年齢人口の割合	62.7% (令和元年における推計)	61.9%	61.5%	61.2%	61.0%		60.5%
【数値目標の説明】 少子高齢化が進行し、また市の人口が減少すると予測される中において、人口ビジョンの将来展望が示す生産年齢人口割合の維持を図る。	【下野市生産年齢人口（令和6年3月末日）】 ÷ 【下野市総人口（令和6年3月末日）】 36,406人 ÷ 59,648人 = 61.0% ※栃木県毎月人口調査報告書（令和5年10月1日現在の数値）によると、栃木県全体では58.4%であり、下野市（60.2%）は県内5位である。						
市内事業所における従業者数	24,295人 (H26 (2014)年)	—	—	—	—	—	24,485人
【数値目標の説明】 市内事業所に勤務する従業員数（経済センサス—基礎調査）の増加を図る。	経済センサス—基礎調査は令和6年度実施予定						

重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
		年度		令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	
1	制度融資新規活用件数		163件	目標値	170件	180件	190件	195件	200件	210件
			最終目標値	実績値	183件	122件	65件	58件		
	(制度融資新規活用件数)		210件	達成度	A	C	D	D		
	令和５年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		・融資制度案内を商工会会員及び市内立地企業連絡協議会会員等を中心に配布し、周知を行った。 ・令和２年３年には新型コロナウイルス感染症の影響による資金需要が高く融資件数が多かったが、新型コロナウイルス感染症の影響による資金需要が落ち着いてきたことから、新規融資利用者が減少している状況にある。 ・また昨今を取り巻く物価高騰の影響については、国や県が有利な制度を提供しているため、市の融資制度の大幅な増加は見られない。							
	担当課	商工観光課								
備考										
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
		年度		令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	
2	空き店舗奨励金等活用件数		4件	目標値	延3件 (年間3件)	延6件 (年間3件)	延9件 (年間3件)	延12件 (年間3件)	延15件 (年間3件)	延18件 (年間3件)
			最終目標値	実績値	延4件 (年間4件)	延9件 (年間5件)	延11件 (年間2件)	延14件 (年間3件)		
	(空き店舗奨励金等活用件数)		延18件 (年間3件)	達成度	A	A	B	A		
	令和５年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		・商工会を通じて、制度周知のガイドブックを継続的に配布している。また、創業塾で制度紹介を行った。さらに、資金提供の窓口となる金融機関において制度活用の斡旋を行っている。 ・引き続き制度の周知及び活用を続け、認知度の向上を図る。							
	担当課	商工観光課								
備考										
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
		年度		令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	
3	雇用奨励金活用件数		7件	目標値	延4件 (年間4件)	延8件 (年間4件)	延12件 (年間4件)	延16件 (年間4件)	延20件 (年間4件)	延24件 (年間4件)
			最終目標値	実績値	延10件 (年間10件)	延13件 (年間3件)	延19件 (年間6件)	延23件 (年間4件)		
	(市民居住労働者の雇用促進のための奨励金の活用件数)		延24件 (年間4件)	達成度	A	A	A	A		
	令和５年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		・商工会を通じた会員への配布、立地企業連絡協議会での制度紹介等を行い、制度周知を図っている。 ・製造業や介護事業を行う事業所等での雇用に活用されている。							
	担当課	商工観光課								
備考										

重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値					
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
4	創業資金利用件数 （創業・女性企業家資金の活用件数）	3件	目標値	延4件 （年間4件）	延8件 （年間4件）	延12件 （年間4件）	延16件 （年間4件）	延20件 （年間4件）	延24件 （年間4件）
		最終目標値	実績値	延4件 （年間4件）	延10件 （年間6件）	延14件 （年間4件）	延16件 （年間2件）		
		延24件 （年間4件）	達成度	A	A	A	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		・市への創業相談内での紹介、創業塾での制度紹介、銀行からの案内等で周知を図っている。 ・市で把握している創業者数と比較し、創業資金利用件数が少ないことから、自己資金内での開業及び日本政策公庫等の資金を利用した創業者がいることが考えられる。						
	担当課	商工観光課							
備考									
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値					
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
5	市内農産物直売所の販売額 （市内農産物直売所の販売額）	9億円	目標値	9.4億円	9.8億円	10.2億円	10.6億円	11億円	11億円
		最終目標値	実績値	8.8億円	9.0億円	8.8億円	9.0億円		
		11億円	達成度	B	B	B	B		
	令和5年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		各地域に直売所施設がある一方で道の駅やゆうがおパークなど同様の大型直売施設もあり、小規模店舗などで販売額が伸び悩み目標を達成することができなかった。 農政課主体のイベントなどの会場として、道の駅やゆうがおパークを活用することにより集客に努めた。 今後は、競合する施設も増える中、地域の消費者ニーズに合った品揃えや新たな魅力ある農畜産物や加工品の開発などを積極的に行うと共に、市内直売所のPR、周知に努め、販売額増加を図って行く。						
	担当課	農政課							
備考									
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値					
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
6	地域の担い手となる認定農業者数 （農業経営の目標に向け、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画が認定された農業者数）	290人	目標値	292人	294人	296人	298人	309人	320人
		最終目標値	実績値	293人	296人	298人	299人		
		320人	達成度	A	A	A	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		・農業者が減少する中、現行の農業者の中から地域の担い手となる認定農業者の掘り起こしを行い、認定新規就農者から認定農業者になる橋渡しを積極的に行った結果、目標人数を達成することが出来た。しかしながら認定農業者の高齢化に伴い、農業経営をリタイヤする農家も増えていることから、大幅に数を増やすことが難しい現状がある。 ・今後も認定農業者になることへの利点を十分に説明し、これまでの取り組みに加え親元就農者等への共同認定の案内等を行うことにより、認定農業者数の増加を図って行く。						
	担当課	農政課							
備考									
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値					
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
7	新規就農者数（年間） （独立自営又は親元就農等で新たに農業を開始した農業者数）	9人/年	目標値	10人/年	10人/年	11人/年	11人/年	12人/年	12人/年
		最終目標値	実績値	11人/年	12人/年	7人/年	9人/年		
		12人/年	達成度	A	A	C	B		
	令和5年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		・栃木県農業振興公社や市農業委員会と共に新規就農者を獲得すべく、新規就農相談会に参加し、新規就農を検討している方々へ相談対応を実施したが、目指す就農者数の確保までには至らなかった。 ・上記相談会に加え、各関係機関との連携を密にするとともに、情報発信と就農支援を推進し、就農者確保へ努めていく。						
	担当課	農政課							
備考									
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値					
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
8	担い手への農地集積率 （市内耕地面積に対する認定農業者等の農地利用集積面積の割合）	50%	目標値	52%	54%	56%	58%	60%	60%
		最終目標値	実績値	53%	57%	59%	58%		
		60%	達成度	A	A	A	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		・地域の担い手となる認定農業者等への集積計画である人・農地プランに基づき、目標とする集積率は達成することが出来たが、離農者の影響などにより実績値としては微減となった。法人化を推進し規模を拡大する農家がある一方で高齢化や後継者不足により離農や規模を縮小をする農家も増えている事から、今後も農業委員会、農業公社と連携を図りながら、担い手の確保を図るとともに、農地集積を推進していく。						
	担当課	農政課							
備考									

基本目標② 「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」

数値目標	基準値	実績値					目標値 令和7年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
転入者数	2,339人	2,277人	2,366人	2,366人	2,242人		2,619人
【数値目標の説明】 合併後は2,400人を上回る転入者数であったが、最近の5年間の転入者数の平均は2,331人である。毎年度2%の転入者増を目標に、6年後12%の転入者増を目指す。	令和5年（1月～12月）の転入者数は2,242人であり、昨年より減となった。 【令和5年住民基本台帳年報より】						
東京圏からの転入者数	468人	476人	462人	494人	494人		524人
【数値目標の説明】 東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）からの転入者数は、過去5年間の平均が462人であった。毎年度2%の転入者増を目標に、6年後12%の転入者増を目指す。	令和5年（1月～12月）の東京圏からの転入者は494人であり、昨年と同数であった。						
観光入込客数	231万人	1,797,291人	1,939,975人	2,185,926人	2,391,999人		271万人
【数値目標の説明】 市内観光施設・イベントへの来訪者数（観光庁の観光入込客数）。	第45回天平の花まつり、第5回しもつけ燈桜会については、前年より規模を拡大して実施した。また、道の駅しもつけの利用客数増加により、前年を上回る観光入込客数となった。						

重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
9	移住相談件数 （移住相談件数）	39件	目標値	60件	70件	80件	90件	100件	110件
		最終目標値	実績値	12件	51件	72件	91件		
		110件	達成度	D	C	B	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組	・東京で開催された移住フェアに参加し、移住希望者に対し市の魅力を伝えた。また、フェア会場で相談を受けた方に、本市内を巡るツアー開催し、フェア終了後も継続して本市の「暮らしやすさ」を伝えることができた。 ・今後もシティプロモーションサイトなどを活用しながら、本市の魅力を周知し、移住先の選択肢としてさらに認知されるよう広くPRしていく。							
	担当課	総合政策課							
	備考								
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
10	土地区画整理事業整備面積 （全体面積 502.7ha） （事業費ベース進捗率による整備面積）	477.8ha	目標値	482.8ha	485.4ha	491.4ha	493.4ha	495.4ha	497.4ha
		最終目標値	実績値	482.8ha	485.1ha	487.0ha	490.5ha		
		497.4ha	達成度	A	B	B	B		
	令和5年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組	・石橋駅周辺及び仁良川地区土地区画整理事業区域において、道路築造・宅地造成・物件移転補償などを実施した結果、前年度比3.5ha増の490.5haとなった。（R5内訳：490.5ha＝整備済405.8＋仁良川179.6＋石橋5.1） ・目標値である502.7ha達成のため、引き続き事業を推進し居住環境の向上と良好な宅地の供給を図る。							
	担当課	整備課							
	備考		基準値は、H30年度時点での整備面積（見込み）						

重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値					
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
11	定住促進住宅新築等補助 件数 （対象要件を満たす定住促進 住宅新築等補助の延件数）	延17件	目標値	延13件 （年間13件）	延28件 （年間15件）	延43件 （年間15件）	延58件 （年間15件）	延80件 （年間17件）	延100件 （年間25件）
		最終目標値	実績値	延14件 （年間14件）	延30件 （年間16件）	延45件 （年間15件）	延61件 （年間16件）		
		延100件 （年間25件）	達成度	A	A	A	A		
	令和5年度の取組と 実績値の分析 及び今後の取組		・令和5年度から中古住宅や建替住宅を対象に加えるとともに、空き家バンク登録住宅を加算要件に追加した。 ほか、市ホームページにおいて制度活用に関するQ&Aの掲載、移住者向けサイトへの情報の掲載など、幅広く情 報提供に努めた。また、総合政策課と連携し、移住促進イベントにおいて制度のPRを行った。令和5年度は16 世帯（44人）分の移住による住宅取得費の一部を支援した。今後も引き続き制度を周知していく。						
	担当課	整備課							
備考			基準値は、平成30年度までの延件数。						
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値					
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
12	永住促進保留地等購入補助 件数 （永住促進保留地等購入補助 の交付件数）	0件	目標値	5件 （延5件）	5件 （延10件）	5件 （延15件）	5件 （延20件）	5件 （延25件）	5件 （延30件）
		最終目標値	実績値	9件 （延9件）	14件 （延23件）	7件 （延30件）	7件 （延37件）		
		5件 （延30件）	達成度	A	A	A	A		
	令和5年度の取組と 実績値の分析 及び今後の取組		・定住促進制度と同様に周知をした。仁良川土地区画整理事業地内において、7世帯（21人）分の保留地購入費 の一部を補助した。 ・今後も継続して制度を周知していく。						
	担当課	整備課							
備考									
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値					
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
13	空き家バンク登録件数 （空き家バンク登録件数）	延8件	目標値	延10件 （年間1件）	延16件 （年間6件）	延22件 （年間6件）	延28件 （年間6件）	延35件 （年間7件）	延40件 （年間5件）
		最終目標値	実績値	延10件 （年間1件）	延10件 （年間0件）	延11件 （年間1件）	延11件 （年間0件）		
		延40件 （年間5件）	達成度	A	C	C	D		
	令和5年度の取組と 実績値の分析 及び今後の取組		・広報しもつけや市ホームページにおいて空き家バンク制度と関連補助金についてPRを行った。また、令和5年 度から市街化調整区域の物件についても空き家バンクへの登録対象とし、固定資産税納税通知書に制度PRのチラ シを同封する等、新たな周知にも取り組んだが、実際に登録に至った件数は0件であった。しかし、登録間近の ケースが数件あるので、今後も新たなPR方法を検討しながら引き続き制度のPRに努めていく。						
	担当課	整備課							
備考			基準値は平成30年度までの延件数。令和元年度は年間1件。						
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値					
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
14	住民1人当たり都市公園面 積 （市内の都市公園合計面積を 市内人口で除した面積）	15.65㎡	目標値	16.88㎡	16.88㎡	16.88㎡	17.05㎡	17.05㎡	17.10㎡
		最終目標値	実績値	16.89㎡	16.92㎡	17.04㎡	17.07㎡		
		17.10㎡	達成度	A	A	A	A		
	令和5年度の取組と 実績値の分析 及び今後の取組		・公園施設の危険箇所等について迅速に対応し適正な維持管理に努めた。 ・条例で定める1人あたりの都市公園面積は10㎡以上であり、現状で実績値が大きく上回っていることから新規 の公園整備計画はないが、既存の公園施設を良好な状況で維持するために適正な維持管理運営を継続していく。						
	担当課	管理保全課							
備考			実績値の算出方法：市内の都市公園面積÷年度末における住民基本台帳人口 令和5年度実績値：17.07(㎡)＝1,018,100(㎡)÷59,648(人)						

重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
15	下野市観光協会 HPセッション数 （観光協会ホームページの 年間セッション数）		33万6千件	目標値	33万7千件	34万4千件	35万1千件	35万8千件	36万6千件	37万件
			最終目標値	実績値	23万6千件	21万3千件	25万9千件	21万8千件		
			37万件	達成度	C	C	C	C		
	令和5年度の取組と 実績値の分析 及び今後の取組		・第44回天平の花まつり（令和5年3・4月）は規模を縮小して開催したが、第45回天平の花まつり（令和6年3・4月）はコロナ以前に近い内容で開催できた。第5回しもつけ燈桜会（令和5年7月）は、ろうそくを2,000個追加して合計6,000個で実施。一般ボランティアの他に職員の協力を得て開催した。第26回天平の芋煮会は、駐車場整備工事の影響で中止となった。 ・実績値が減少しているが、サイトの訪問数と訪問したユーザー数は前年より増加しており、Googleの計測方法が令和5年6月1日から変わったためと考えられる。（訪問数R4 43,645件→R5 65,743件、ユーザー数R4 26,951人→R5 35,136人） ・今後も、市内イベントなどの情報を掲載し、さらなる市の魅力発信につなげていく。							
	担当課	商工観光課								
備考		計測方法の変更により指標をセッション数に変更。令和4年度まではサイトのアクセス数で計測。 セッション：Webサイトにアクセスしたユーザーが、サイト内閲覧から回遊、そして離脱するまでの一連の行動。								
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
16	道の駅しもつけ利用者数 （買い物等の市内外の 年間利用者数）		215万人	目標値	220万人	230万人	240万人	245万人	250万人	255万人
			最終目標値	実績値	202万人	227万人	244万人	248万人		
			255万人	達成度	B	B	A	A		
	令和5年度の取組と 実績値の分析 及び今後の取組		・令和4年度に完成した施設東側の駐車場の増設により、来場者数の増加につながったと考えられる。 ・道の駅でも定期的なイベント等を行い、来場者数の増加を図っている。							
	担当課	商工観光課								
備考										
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
17	関係人口関連事業への イベント参加者数 （市が開催した関係人口関連 事業へのイベント参加者数）		—	目標値	50人	60人	70人	190人	200人	200人
			最終目標値	実績値	90人	78人	81人	157人		
			200人	達成度	A	A	A	B		
	令和5年度の取組と 実績値の分析 及び今後の取組		・主に市外在住者を対象に、移住者交流会（参加者10名）や子育て世代親子向けワークショップの開催（参加者50名）、市内の史跡等を巡る「東の飛鳥バスツアー」（2回開催参加者計64名）を実施し、本市の魅力の周知と共に関係人口創出に取り組んだ。また、都内にて本市に所縁のある若者同士の交流イベントを開催（参加者11名）したほか、若者が主体となり、市内で活躍する人物を紹介するSNSマガジンの作成（参加者9名）、市外大学等に通う若者を対象に市内企業や団体でのインターンシップ（参加者13名）を実施し、若者に対し、本市への関心を高めることができた。 ・引き続き、継続的な関係を築けるようなイベントを実施して関係人口を増やしていきたい。							
	担当課	総合政策課								
備考		令和4年度までの目標値は、推進交付金事業を活用した「下野市を知ればもっと好きになる！交流・関係・定住人口好循環拡大プロジェクト」のKPIを根拠としていた。								
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
18	シティプロモーションサイ トへのセッション数 （シティプロモーションサイト「プチハビし もつけ」への年間セッション数）		27,600件	目標値	28,200件	28,800件	29,400件	30,000件	30,600件	31,200件
			最終目標値	実績値	26,917件	23,271件	40,902件	35,822件		
			31,200件	達成度	B	B	A	A		
	令和5年度の取組と 実績値の分析 及び今後の取組		・注目度の高い人物やイベントのページを作成したりInstagramで投稿したことで、「プチハビしもつけ」のセッション数増加につながった。また、YouTubeやSNSで都内在住者にweb広告を展開したことにより、前年度に続き今年度も東京都からのセッション数が最も多く、東京圏に住む方に市の魅力を広めることができた。 ・今後も広く注目される内容のページやInstagramを投稿し、市外在住者へのセッション数を高める。							
	担当課	総合政策課								
備考		計測方法の変更により指標をセッション数に変更。令和4年度まではサイトのアクセス数で計測。 セッション：Webサイトにアクセスしたユーザーが、サイト内閲覧から回遊、そして離脱するまでの一連の行動。								

基本目標③ 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

数値目標	基準値	実績値					目標値 令和7年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	96.3%	98.2%	98.1%	98.4%	98.0%		99.0%
【数値目標の説明】 乳幼児健康診査のアンケート調査において実施。	目標値を上回る結果であった。 ※乳幼児健康診査のアンケート調査における「この地域で、今後も子育てをしていきたいですか」という問いに対して「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。						
出生数	403件	396件	410件	433件	—	—	463件
【数値目標の説明】 戸籍法の届出により届け出られた出生の数（厚生労働省人口動態統計）	令和5年度の人口動態統計は令和6年9月頃に公表予定						
結婚件数	235件	266件	—	—	—	—	265件
【数値目標の説明】 年間に届出のあった婚姻した日本人の件数（厚生労働省人口動態統計）	令和3、4年度の市町村別婚姻件数は令和6年6月現在未公表						

重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
19	両親学級参加率		59.3%	目標値	59.7%	59.7%	59.8%	59.9%	60.0%	70.0%
			最終目標値	実績値	59.7%	60.2%	64.2%	67.2%		
	(妊娠届出者に対する両親学級の参加率)		70.0%	達成度	A	A	A	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		・令和5年度（R5.4.1～R6.3.31）に赤ちゃん訪問を受けた産婦（372人）のうち、これまでに市または病院で両親学級に参加した人は67.2%（250名）であった。※実績はR6.5.10時点報告分まで ・両親学級に参加する必要があると判断した妊婦に対しては、教室の参加勧奨を行うため電話連絡を行い、妊婦の状況を確認し、ニーズに応じて情報提供を行っている。 ・集団教室に参加できない場合には、講話内容を個別相談の場において説明し、さらに相談者のニーズに合わせて情報提供を実施している。							
	担当課	こども家庭センター								
備考										
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
20	不妊治療助成件数		119件	目標値	119件	119件	119件	54件	54件	54件
			最終目標値	実績値	90件	158件	86件	64件		
	(不妊治療（人工授精、生殖補助医療、先進医療）及び不育症治療を受けた方への治療費の一部助成の年間件数)		54件	達成度	C	A	C	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		・令和4年度より不妊治療の保険診療が開始されたことにより、令和5年度より新たな助成事業(保険適用の治療：自己負担額の10割助成、上限10万円。保険適用外の治療：自己負担額の1/2助成、上限15万円。)を開始することとなった。 ・令和5年度については、申請期限の都合上、従来の不妊治療助成制度の申請と新たな不妊治療助成制度の申請の両方の助成を行った。令和6年度以降は新たな助成制度のみの助成となるため、引き続き、不妊治療及び不育症治療の助成制度について、ホームページ、広報及び実施医療機関に周知を図っていく。							
	担当課	こども家庭センター								
備考										

重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
21	産後ケアサービス提供施設数 （生後1歳未満の母子が利用できる産後ケアサービスの事業所（医療機関等）の数）	—	目標値	6施設	6施設	6施設	6施設	6施設	10施設
		最終目標値	実績値	3施設	7施設	9施設	10施設		
		10施設	達成度	C	A	A	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・令和5年度に新たに1施設と契約をしたため、宿泊型と通所型は、医療機関と助産院で計9施設、訪問型は県助産師会と契約し、契約施設は10施設となった。さらに、利用施設数の拡充に加えて、令和5年10月利用分からは、産後ケア事業の利用者負担金額を無料とした。 ・契約施設は最終目標値に達しているため、妊産婦の利用ニーズに合わせて、さらに利用しやすい環境づくりに努めていくために、近隣市町で契約している施設を参考とし、契約施設目標値を14施設としたい。							
	担当課	こども家庭センター							
		備考							
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
22	放課後児童クラブ待機児童数 （放課後児童クラブ待機児童数）	0人	目標値	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		最終目標値	実績値	0人	0人	0人	0人		
		0人	達成度	A	A	A	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・学童保育室の適正な運営を図るため、支援員の確保や施設の修繕など必要な環境整備に努めるとともに、民間の法人が運営する学童保育室に対し運営費補助金を交付した。 ・今後も民設民営の促進を図るべく、施設整備に関する補助などを実施することで、新規開設や定員拡大に努めていく。							
	担当課	子育て応援課							
		備考							
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
23	保育所等待機児童数 （保育施設への入所を希望したが、入所できず待機している児童数（4月1日現在））	3人	目標値	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		最終目標値	実績値	0人	0人	0人	0人		
		0人	達成度	A	A	A	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・女性の就業率の上昇等に伴い、0・1歳児の利用児童数が増加傾向にあるため、市内保育施設の利用定員の設定にあたっては、0・1歳児の利用定員を536名から553名に増員し保育ニーズに対応した。 ・引き続き、低年齢児の保育体制を充足させるため、市内保育施設の保育士の人材確保を支援し、受け入れ枠の拡充に努めていく。							
	担当課	子育て応援課							
		備考							
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
24	児童館利用者数 （児童館の年間利用者数）	30,046人	目標値	30,450人	30,840人	31,230人	31,620人	32,000人	32,000人
		最終目標値	実績値	18,348人	23,463人	25,080人	39,751人		
		32,000人	達成度	C	C	C	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・新型コロナウイルス感染症の5類移行後、イベントや各種行事等の増加に伴い、利用者数はコロナ前の水準を超えるまで回復した。 ・今後も、日常の「子どもの居場所」として安心・安全な施設であることを目指すとともに、中高生も利用しやすい環境づくりに努め、児童館の設置目的であるこどもたちの健全な育成を図っていく。							
	担当課	子育て応援課							
		備考							

基本目標④ 「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」

数値目標	基準値	実績値					目標値 令和7年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
幸せだと感じている市民の割合	77.0%	—	—	—	—		80.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「幸福感」の項目で、幸せだと感じていると回答した人の割合	意識調査は令和6年度実施予定						
住みやすいと感じる市民の割合	86.7%	—	—	—	—		90.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「下野市について」の項目で、住みやすい・どちらかといえば住みやすいと回答した人の割合	意識調査は令和6年度実施予定						

重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
25	健康マイレージ参加者数 （市健康マイレージ事業への参加者数）		452人	目標値	463人	475人	486人	497人	510人	520人
			最終目標値	実績値	436人	571人	627人	239人		
			520人	達成度	B	A	A	D		
	令和5年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		・令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健康に関する事業への参加をポイントから除外し、参加要件を検診受診と健康チャレンジのみとしたことから参加者数が増加した。令和5年度からは、新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったため、参加要件に健康に関する事業への参加を必須としたが、未だ参加控えの影響もあり、参加者数が減少したと考えられる。ウィズコロナの時流に伴い、庁内の健康に関する事業への参加を促すことは、よりよい健康づくりに必要な項目である。 ・今後は、これまでの集計結果より参加者の56.1%が高齢期（65歳以上）であるため、青年・壮年期（20～64歳）の方が参加しやすい健康に関する事業や記念品の見直しを図りながら実施していく。							
	担当課	健康増進課								
	備考									
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
26	地域ふれあいサロンの設置数 （市内の地域ふれあいサロン数）		40か所	目標値	40か所	60か所	65か所	70か所	70か所	75か所
			最終目標値	実績値	55か所	62か所	59か所	62か所		
			75か所	達成度	A	A	B	B		
	令和5年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		・地域活動の盛んな地域についてはある程度設置が進んでいるが依然として地域差が大きい。設置がない地域への継続した働きかけが必要である。 ・サロンは、地域の交流の場であり高齢者の健康維持に大きな役割を果たすことから、今後も、市のフレイル予防教室等への参加勧奨を積極的に行っていく。							
	担当課	高齢福祉課								
	備考									
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
27	認知症サポーター数 （認知症サポーター養成講座の受講者数）		延7,881人	目標値	延9,800人 （年間500人）	延10,350人 （年間550人）	延10,900人 （年間550人）	延11,450人 （年間550人）	延12,000人 （年間550人）	延12,550人 （年間550人）
			最終目標値	実績値	延9,389人 （年間92人）	延9,600人 （年間211人）	延9,792人 （年間192人）	延10,152人 （年間360人）		
			延12,550人 （年間550人）	達成度	B	B	B	B		
	令和5年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		・市民向けのほか、団体、小学校、大学など計14回サポーター養成講座を実施した。その結果、360名の認知症サポーターが新たに誕生した。 ・今後、未受講の企業・団体等を調査の上、受講勧奨を積極的に進めていく。							
	担当課	高齢福祉課								
	備考		基準値は平成30年度までの延人数。令和元年度は年間1,416人。							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
28	就労系サービス利用者数 (就労移行支援、就労継続支援(A型)、就労継続支援(B型)の年間実利用者の月平均人数)	142人/月	目標値	158人/月	164人/月	170人/月	175人/月	206人/月	216人/月
		最終目標値	実績値	174人/月	189/月	200/月	221人/月		
		216人/月	達成度	A	A	A	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・障がい者が適性に応じて就労できるよう、関係機関と連携し就労支援の推進に努めたことにより、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所の利用者が増加した。 ・今後も引き続き関係機関との連携を図り、一般就労につながるよう支援を実施していく。							
	担当課	社会福祉課							
		備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
29	低所得者への自立に向けた支援(自立促進)数 (就労支援等を行い、就労し自立を図った世帯の数)	14世帯	目標値	16世帯	17世帯	18世帯	19世帯	20世帯	21世帯
		最終目標値	実績値	14世帯	14世帯	26世帯	19世帯		
		21世帯	達成度	B	B	A	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・令和5年度は、新型コロナウイルスの5類移行後で経済活動や日常生活がコロナ禍前にもどりつつあるも、管内の有効求人倍率は1.00を下回る月が多く厳しい求人状況の中、就労支援員による伴走型支援として相談対応、ハロワーク同行等きめ細やかな支援の結果、目標を達成することができた。 ・引き続きハロワーク等関係機関と連携しながら就労に向けた支援を実施していく。							
	担当課	社会福祉課							
		備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
30	学ぶ意欲と自己有用感の評価点(小学校) (とちぎっ子学習状況調査を評価化したもの※最高値4.00)	3.23	目標値	3.23	3.23	3.24	3.24	3.24	3.25
		最終目標値	実績値	3.11	3.19	3.17	3.27		
		3.25	達成度	B	B	B	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・教育研究所主催「パワーアップ講座」や指導主事の学校訪問による「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価に関する研修(令和4年8月、11月、12月)を実施した。実績値を算出するための指標とした13項目のうち、昨年度より上昇した項目は5項目に止まった。昨年度に比べ一番減少が大きかった「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している。」の項目については、平成30年度と比較すると、小学校4、5年生共に0.1ポイント以上減少している。年々上昇していた「人と話すことは楽しい。」の項目も、0.02ポイントとわずかだが減少した。自分に自信をもち様々なことに挑戦していけるよう、自己肯定感を高める指導を心掛けていく必要がある。さらに、パワーアップ講座や教育課程事前説明会などの研修内容を充実し、教職員の資質向上を図るとともに、生徒たちへの指導力を高めていきたい。							
	担当課	学校教育課							
		備考	○令和5年度全国学力・学習状況調査(市内小学校・義務教育学校第6学年相当学年)とちぎっ子学習状況調査(市内小学校・義務教育学校第4・第5学年相当)：令和5年4月18日(火)実施						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
31	学ぶ意欲と自己有用感の評価点(中学校) (とちぎっ子学習状況調査を評価化したもの※最高値4.00)	3.07	目標値	3.07	3.08	3.09	3.17	3.18	3.18
		最終目標値	実績値	3.05	3.10	3.16	3.17		
		3.18	達成度	B	A	A	A		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・教育研究所主催「パワーアップ講座」における指導案作成に関する研修の実施(8月) ・「いじめ防止強調月間」の実施(11月) ・「下野市子ども未来プロジェクト」による「いじめゼロを目指すための全学級での話し合い」に向けた働き掛け(令和4年7月より実施、令和5年度も継続) 感染症対策が緩和されたことにより、生徒がお互いの考えを伝え合う場を設定できるよう工夫改善を図りながら教育活動を継続することができた。今後は、更に活動の制限がなくなったことを受け、より一層教育活動の充実を図っていく。併せて、生徒の自己肯定感や自己有用感を高められるよう、一人一人の活躍の場を意図的に設定し、認め励まししながら支援していくなど工夫していく。							
	担当課	学校教育課							
		備考	○令和5年度全国学力・学習状況調査(市内中学校第3学年・義務教育学校第9学年相当学年)とちぎっ子学習状況調査(市内中学校第2学年・義務教育学校第8学年相当)：令和5年4月18日(火)実施						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
32	講座・講演会の年間受講者数 (生涯学習文化G/生涯学習情報センター・公民館・図書館主催講座の年間受講者数)	9,350人	目標値	9,350人	9,400人	9,500人	9,600人	9,700人	9,700人
		最終目標値	実績値	1,585人	4,516人	7,709人	6,973人		
		9,700人	達成度	D	D	B	C		
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・各種講座・講演会については、ほぼ計画どおりに開催することができた。 ・家庭教育学級の実施校の減や、パソコン関連講座等の受講者数が減少し、目標値には及ばなかったが、図書館講座数が増えたこともあり、図書館講座の受講者数は増加した。 ・市民ニーズを把握しながら、各種講座・講演会を企画・開催し、さらなる受講者数の増加を図る。							
	担当課	生涯学習文化課							
		備考							

重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
33	スポーツ施設の利用者数 （スポーツ施設の年間利用者数）	637,000人	目標値	640,600人	644,200人	647,800人	828,000人	839,000人	850,000人
		最終目標値	実績値	478,829人	547,093人	715,238人	831,025人		
		850,000人	達成度	C	B	A	A		
	令和5年度取組と実績値の分析及び今後の取組	・スポーツ交流館高圧ケーブル絶縁不良に伴う改修工事、南河内東体育館屋根改修工事を行った。また、令和5年度から6年度にかけて別処山公園球場ナイター設備のLED化工事を行う。 ・新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行され、行動制限など行われなくなったことから、これまでの自粛の反動から利用者数が大きく増え目標を上回った。特に大松山運動公園の陸上競技場は施設が新しいため利用者数が増え、それに伴い周辺のスポーツ施設の利用者数も増えたと思われる。 ・引き続き各施設の適正管理に務め、利用者が安心して利用できる安全な施設を提供することで利用促進を図る。							
	担当課	スポーツ振興課							
		備考							
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
34	グリムの森・グリムの館の来園者数 （グリムの森・グリムの館の来園者数）	157,523人	目標値	79,800人	161,600人	163,600人	165,600人	167,600人	167,600人
		最終目標値	実績値	15,720人	38,033人	151,280人	171,607人		
		167,600人	達成度	D	D	B	A		
	令和5年度取組と実績値の分析及び今後の取組	・コロナ禍により縮小していたイベントも概ね実施し、来園者も増えたところである。また、昨年度更新した遊具にも多くの子どもたちが利用し、来園者の増加につながった。 ・コロナにより縮小していた事業も実施し、来園者も増え目標を達成することとなった。 ・来園者にとって魅力のある事業を検討する。またお菓子の家を積極的に活用しながら、来園者の増加に努めていきたい。公園利用者の安全のために、園内危険樹木の剪定及び伐採を行うなど、適正な管理を行う。							
	担当課	生涯学習文化課							
		備考							
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
35	下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館入館者の合計 （下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館入館者数の合計）	30,500人	目標値	30,500人	30,875人	31,250人	31,625人	32,000人	32,500人
		最終目標値	実績値	5,222人	13,146人	16,700人	17,837人		
		32,500人	達成度	D	D	C	C		
	令和5年度取組と実績値の分析及び今後の取組	・令和5年度より、感染症対策を行いながら、講座や屋外での大規模イベント実施を再開した結果、徐々に来館者数が増加しつつある。 ・今後は、講座やイベントの実施回数を増やすとともに、市外へのPRを積極的に行い、来館者数の増加に努めていく。							
	担当課	文化財課							
		備考							
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
36	下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数 （下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数）	75人	目標値	75人	77人	80人	82人	85人	85人
		最終目標値	実績値	67人	63人	51人	75人		
		85人	達成度	B	B	C	B		
	令和5年度取組と実績値の分析及び今後の取組	・令和5年度より、徐々にボランティア活動を再開するため、各種イベントの運営支援を依頼。 ・下野薬師寺歴史館においては、下野薬師寺ボランティアの会（会員22名）に、南河内小中学校のエゴマ栽培体験の支援、エゴマ灯明の会の運営、下野薬師寺梅まつりなどの実施に伴う史跡の解説などを依頼した。また、エゴマ灯明の会の運営においては、一般募集した運営ボランティア（参加者32名）にも協力いただいた。 ・しもつけ風土記の丘資料館においては、文化財観覧ガイドボランティア（会員21名）に花まつり期間中の受付・解説や体験講座のサポートなどを依頼した。今後は活動支援と併せて、養成講座の実施なども検討していく。							
	担当課	文化財課							
		備考							
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値						
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
37	自主防災組織設置数 （自主防災組織設置数）	8組織	目標値	11組織	12組織	13組織	15組織	15組織	20組織
		最終目標値	実績値	11組織	11組織	13組織	13組織		
		20組織	達成度	A	B	A	B		
	令和5年度取組と実績値の分析及び今後の取組	・自治会長会議での説明や個別相談にも対応し、3自治会ほど設立に向けて動き出しているが設置には至らなかった。相談内容から自治会内の防災意識の格差や役員等の成り手不足が共通の課題と推察される。継続して自治会長会議等で説明を行うとともに、必要に応じて自治会総会や班長会議に出向いて説明し、防災意識向上の啓発に努める。							
	担当課	安全安心課							
		備考							

重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
38	デマンド交通利用者数 （下野市デマンド交通「おでかけ号」の年間延利用者数）	22,401人 （乗継含む）	目標値	23,520人	18,800人	19,740人	20,680人	21,620人	22,500人	
		最終目標値	実績値	18,823人	19,127人	19,329人	17,827人			
		22,500人	達成度	B	A	B	B			
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・高齢者サロンで実施している交通安全教室にてデマンド交通の周知を行い、利用促進をし、また、「おでかけ号通信」を年2回発行し、デマンド交通の利用方法等について周知を図った。 ・登録者数の増加や利用時間が平日午前中に集中することにより、希望の時間に予約がとりにくくなったことが、利用者数の減少に繋がった1つの要因と思われる。 ・今後、利用者の利便性と満足度の向上を図るため改善と工夫が必要となる。								
	担当課	安全安心課								
備考										
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
39	1市2町広域連携バス乗降者数 （1市2町広域連携バス「ゆうがおバス」の年間延利用者数）	—	目標値	24,000人	25,920人	27,840人	29,760人	31,680人	33,600人	
		最終目標値	実績値	22,536人	23,507人	23,500人	29,214人			
		33,600人	達成度	B	B	B	B			
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・広域連携バスマップに市内公共交通の情報を掲載したマップを作成・配布・ホームページ掲載を行った。 ・コロナが5類に移行したこともあり利用者は回復傾向にあるが、他の公共交通との連携や運行経路など、引き続き関係者間において利用促進策の検討が必要となる。								
	担当課	安全安心課								
備考										
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
40	市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 （市民活動補助事業制度を經由から自立し、自主事業を行う団体数であり、各年2団体の移行を見込む）	23団体	目標値	25団体	27団体	29団体	31団体	33団体	39団体	
		最終目標値	実績値	28団体	32団体	36団体	39団体			
		39団体	達成度	A	A	A	A			
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・地域課題の解決に取り組む市民活動団体の活性化と自立化を支援するため、平成24年度に開始した市民活動補助事業を継続した。補助団体から自主事業へ移行した団体は令和5年度末時点で延べ39団体であった。市民活動団体が活動する市民活動センターも活用しながら、新規事業に取り組む団体が今後も継続的に増加するよう制度のPR、活動の支援を図っていく。また、申請団体が事業を継続することができるよう支援を行う。								
	担当課	市民協働推進課								
備考										
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
41	市ホームページセッション数 （市ホームページの年間セッション数）	108万件	目標値	109万件	109万件	110万件	110万件	115万件	115万件	
		最終目標値	実績値	134万件	131万件	118万件	107万件			
		111万件	達成度	A	A	A	B			
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・最新の情報をタイムリーに掲載し、市民が必要とする情報を継続して提供した。また、その時々イベントやお知らせをトップページのトピックス欄や重要なお知らせに掲載して、市民の目につくよう工夫をした。 ・実績値については、令和2年の新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発出された頃と比較し、アクセスが減少傾向にあるが、感染拡大状況や予防接種等が落ち着いてきたことによるものと考えられる。 ・今後は、内容の充実と見やすさの向上及びタイムリーな更新に努めていく。								
	担当課	総合政策課								
備考			計測方法の変更により指標をセッション数に変更。令和4年度まではサイトのアクセス数で計測。 セッション：Webサイトにアクセスしたユーザーが、サイト内閲覧から回遊、そして離脱するまでの一連の行動。							
重要業績評価指標（KPI）			基準値	年度目標値						
				年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
42	共同連携事業数 （広域連携事業の事業数）	71事業	目標値	71事業	75事業	76事業	77事業	77事業	77事業	
		最終目標値	実績値	74事業	78事業	78事業	78事業			
		77事業	達成度	A	A	A	A			
	令和5年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・小山地区定住自立圏では、第二期小山地区定住自立圏共生ビジョンにおいて掲げる41事業に連携して取り組み、情報交換会では、事業ごとに設定した成果指標の達成度等について検証したほか、効果的な連携のための議論を交わした。 ・また、下野市・上三川町・壬生町連携会議では新規の連携事業の検討を行い、また様々な形態での各種広域連携を継続している。 ・今後も、連携による事業の効率化・サービスの充実等を図り、地域課題の解決、定住促進・地域活性化につなげる。								
	担当課	総合政策課								
備考										